



## 身近で豊かな自然とのふれ愛

伊丹市は、都会にありながら豊かな自然に恵まれています。昆陽池公園をはじめとする数々の公園、緑地やたくさんの虫に出会い、親しむことのできる昆虫館など、自然と共生関係にあります。

乳幼児期は人生の中で興味・関心の対象がひろがる時期であり、自然の面白さ、美しさ、不思議さなどに直接ふれ、五感を大いに使う経験を通して、様々な感情や心を育みます。

そこで、「自然」については次のことを大切にします。



# 自然

### ① 自然の面白さ、美しさ、不思議さを感じる

植物にふれ、色や形の違いに気づいたり、匂いや感触を味わったり…。身近な自然にふれて遊ぶ機会が増えてくると、その面白さ、美しさ、不思議さに心を動かされるようになります。

このような経験を繰り返し、様々な事象に興味や関心をもつようになっていくことが大切です。

### ② 自然とふれあい豊かな心を育成する

自然との出会い・ふれあいによって、興味・関心、豊かな感性、好奇心・探究心、思考力、表現力の基礎、美的感覚、科学性の芽生え等が培われます。

伊丹市の財産である豊かな自然をいかし、日々の生活の中で、子どもがいつでも自然を身近に感じられるようにするなど、自然との関わりを大切にし、子どもに豊かな心を育みます。

### ③ 自然に対する畏敬の念をもつ

子どもは、命あるものの世話をしたり、身近な動植物とふれあったり関わったりすることを通して、命に親しみ、大切にしようとする気持ちをもつようになります。ときには自然事象を通じて、自然の厳しさや脅威を感じ、自然の偉大さを知ることもあります。

このように、自然との関わりを通して、自然に対する畏敬の念をもつことは大切です。



伊丹市は、子どもと「自然」とのふれ愛を通して、豊かな感性を育み、生命の尊さに気付くことを願います。